

地域医療連携だより

高松市立病院
基本理念

『生きる力を応援します』

高松市民病院
基本方針

- 1『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3『まごころのある医療人』を全力で育成します。

平成27年

1月号
〈第15号〉

病院屋上からの眺望



「地域医療支援病院」に承認されました



新年のご挨拶

高松市民病院院長 和田 大助

新年あけましておめでとうございます。

地域の医療機関の先生方には、日頃より病病連携、病診連携にご協力を賜りありがとうございます。あらためて厚く御礼申し上げます。この「地域医療連携だより」もお陰さまで順調に発行でき、各医療機関の先生方からご意見を頂戴しながら、少しずつですが連携が進んでいるように思っています。

昨年は、年明け早々に病院機能評価を受審しました。これは、病院が適切に活動出来ているか、地域に根ざし安心、安全な医療サービスを提供できているかについての審判を仰いだ訳ですが、何とか一回の審査で認定されることができました。また、5月には、HCU 8床のうち4床をICUとして運用することにいたしました。一段と高度かつ集中的に医療や看護が提供できる体制となりました。さらに、12月には地域の医療機関の先生方のご協力により、紹介率・逆紹介率も次第にアップし、かねてから当院の大きな目標でありました『地域医療支援病院』の申請を行い、承認されました。

最後に、遅れていた新病院整備もようやく動き出し、開院時期は平成30年度前半と決定いたしました。昨年暮れには造成工事に着手し、予定通りに進めば、当地で診療をするのもあと約3年となります。

新病院へスムーズに移行するためにも、今まで以上に質の高い医療を提供できるよう職員一同頑張っていく所存です。本年も何卒よろしくお願い致します。

診療科紹介

皮膚科

古北 一泰

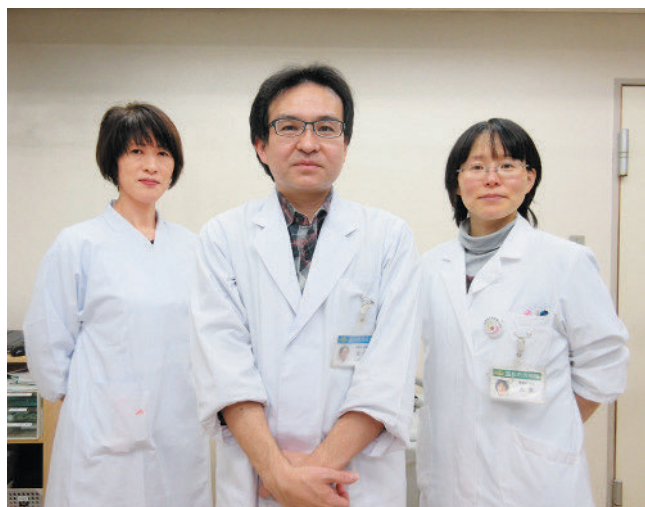
平素は患者さんをご紹介していただき、また当科患者さんの引き続きの加療をお引き受けくださり、ご配慮本当にありがとうございます。

当院に赴任して3年ですが、皮膚科がある病院として当科においても地域医療連携の重要性や広がりを感じています。

外来診療は月～金曜の午前中です。午後は手術や入院患者さんの対応に当てていますが、急な紹介の場合でもできる限り当日に対応させていただきます。紹介を受ける内容は原因不明の発疹・痒み、蜂窩織炎、帯状疱疹などの感染症、各種皮膚腫瘍、蕁麻疹、脱毛、膠原病、水疱症、熱傷、褥瘡などさまざまです。入院での精査・加療が必要な方も積極的に受け入れております。

外来では、主に一般診察、皮膚外科処置の他、皮膚生検、ダーモスコピー（拡大鏡で主に腫瘍性病変の鑑別）、感染菌の直接検鏡・培養同定、アレルギー関連（皮膚プリックテスト・皮内テスト、パッチテスト）検査などを行っています。

治療では、現在取り組んでいる特徴といえるいくつかを紹介します。



皮膚科スタッフ

- ・乾癬：難治な皮疹、関節症状に生物学的製剤治療（TFN- α 抗体のアダリムマブ、インフリキシマブ、IL-12/23p40抗体のウステキヌマブ）。
- ・円形脱毛症：頭部脱毛の急速な進行や眉・睫毛、体毛まで抜ける重症例に早期からのステロイドパルス療法、慢性期に局所免疫療法、エキシマライト照射（後述）。
- ・限局性多汗症（特に掌蹠）：塩化アルミニウム液の単純塗布・密封療法やイオントフォレーシス療法。無効例には呼吸器外科で胸腔鏡下交感神経節遮断術を検討。
- ・紫外線療法：乾癬、掌蹠膿疱症、白斑、アトピー性皮膚炎、菌状息肉症、痒疹、円形脱毛症などに有効。従来の広範囲照射型のUVB機器に加え、2014年から病変のみピンポイントに照射可能で効果の高いターゲット型機器（エキシマライト）を導入しました。

昨年は“マダニ咬傷”の患者さんが紹介を含め例年以上に多く、TVやマスコミが報じたマダニ媒介のウイルス感染症、「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」が心配されましたが、幸い香川県はまだSFTSの発生報告がありません。しかし、2013年以降、西日本15県から100例以上（四国は愛媛19、高知13、徳島9例（2014年11月時点））の報告があり、安心できない状況です。また、マダニ媒介ではもう一つ「日本紅斑熱（高熱、発疹、刺し口が3徴、重篤化もあるリケッチア感染症）」があります。香川県は2011年に初めて報告された後発地域（ちなみに隣徳島県は1984年馬原文彦医師が国内で初めて発見・命名された好発地域）でなじみが薄いかもかもしれませんが、昨年西日本を中心に200例以上、香川県でも7例（当院1例）と急増しました。今年も（特に春から秋）“マダニに要注意”は続きそうです。

最後になりますが、ご紹介いただけるよう責任感と優しさ、向上心で臨んでまいります。2012年からは形成外科が設けられ（常勤の専門医1名）、皮膚外科領域（腫瘍、外傷、熱傷など）では当科共同でこれまで以上に役割を果たしていけるものと考えております。

今後も地域と連携を大切にする真情です。宜しく願いいたします。

プライマリ・ケアレクチャー、プライマリ・ケアカンファレンスの実施

札幌医科大学医学部地域医療総合医学講座のインターネットによるケアレクチャー、カンファレンスに12月から当院も参加し、聴講会を開催しております。

本聴講会は全国の230を超える病院、診療所、個人の方が登録し、毎回90ヶ所以上が参加しています。平成26年10月18日に開催しました第3回高松市立病院学会にて特別講演をして頂いた松前町立松前病院の木村眞司先生が講演の中でも紹介されました。

毎水曜日に実施している「プライマリ・ケアカンファレンス」では、症例発表や抄録会、チャットでの質問やディスカッションを行っています。

毎木曜日に実施している「プライマリ・ケアレクチャーシリーズ」では、プライマリケアに関する実用的なトピックスの講義が行われています。

朝の7時30分からと少し早い時間帯ですが、全国からさまざまな症例が紹介され、また、生涯学習としても有用であるため、全職員を対象に参加しております。



クリスマス会を開催しました

12月1日（月）に当院2階ロビーにて「クリスマス会」を開催いたしました。

当日はフルート演奏が行われ、和やかな雰囲気の中でたくさんの患者さんに心温まるひとときを過ごしていただくことができました。



次回地域医療連携セミナー開催のお知らせ

日時 平成27年2月18日(水) 午後7時～

場所 高松市民病院 西館2階 西会議室

演題 「異物の画像診断」 放射線科 大友 真姫 医師
「外科におけるヘルニア治療について」 外科 篠原 永光 医師

※事前申し込みが必要です。

お問い合わせ先：地域医療連携室 TEL:087-834-2181(代表) FAX:087-834-2223(直通)

日本医師会生涯教育制度の体験学習1単位カリキュラムコード(47, 9)取得

当日は、軽食をご用意しております。

一人でも多くの先生方のご出席をお待ちしております。

介護関連施設職員研修会を開催しました



第8回介護関連施設職員研修会を通して

11月27日(木)に『低血糖時の対処法』『糖尿病におけるフットケア』の演題にて、当院糖尿病看護認定看護師より5名の施設職員の方に講義・実技を行い、フットケアを体験していただきました。当日行ったアンケート調査より、「職場の利用者さんの爪は、よくもげやすい人も多いので学習して自分のやり方が当たっていることが分かって良かった。」「他の従事者も実践できるようにして、皆でフットケアに励みたいと思った。」「糖尿病の人に限らず高齢者には白癬が多いのでフットケアを大事にしていきたい。」など多数のご意見をいただくことができました。ご参加ありがとうございました。



第9回介護関連施設職員研修会を通して

12月11日(木)に『体位ドレナージと排痰について』の演題にて、当院救急看護認定看護師・呼吸療法認定士より16名の施設職員の方に講義のみならず、実際に体位変換の実技を行っていただきました。当日行ったアンケート調査より、「安楽なポジショニング、体位変換を個別の状況に応じて考え対応したい。」「今まで自己流になっていたので、体位変換のやり方の基本から実践に生かしていきたい。」「排痰のための体位が良く分かった。痰の出にくい方に早速実践したい。」など多数のご意見をいただくことができました。ご参加ありがとうございました。

… FAX 予約をお願いします…



患者さんをご紹介していただく際に、**地域医療連携室**へ事前にFAX予約をお願いいたします。「高松市民病院FAX診療申込書」をご利用ください。

電話 (087) 834-2181(代表)

FAX (087) 834-2223(直通)

受付時間 平日(月～金) 8:30～17:00

※当日のFAX予約は受付できませんのでご了承ください。